



石巻港復興だより第26号 (石巻港湾ひばりの通信49号) 一港湾は人の心も結んでいますー

新年度に向けて（所長のごあいさつ）



4月の人事異動により着任した所長の熊谷です。よろしくお願いします。さて令和の新しい時代を迎えた本年度は「復旧・復興の総仕上げに向けた工事促進と進捗管理の実施」, 「東北地方の産業・経済を支える港湾機能の強化」, 「宮城のさらなる発展につなげる工業用地やクルーズ船受入環境の整備」の三つが当事務所の使命と位置づけております。

はじめに災害復旧事業につきましては、平成31年3月末現在で、47箇所、事業費約226億円に対しまして、箇所ベースで着手率98%、完成率60%、金額ベースでは着手率94%、完成率94%になっております。引き続き地元住民の方々、関係自治体や関係企業の御理解と御協力を得ながら令和2年度までに防潮堤の整備など復旧・復興事業が完了できるよう邁進してまいります。

次に航路・泊地の浚渫や公共ふ頭の定期点検、長寿命化の推進、保安警備の充実、ソーラフェンスの整備を図ることにより、安全な港湾機能を向上させてまいります。

最後に石巻港区の工業用地について、利便性の高い工業用地として整備し、関係機関と連携しながら積極的にポートセールスを実施してまいります。従来から石巻港は、木材チップ、石炭、飼料など原材料の輸入拠点ですが、近年は大型クルーズ船が継続的に寄港しており、石巻圏域の観光物産の振興に寄与するものと期待されることから、その受入体制について関係機関と連携して整備してまいります。

これまで以上に職員が一丸となって、復旧・復興に取り組むとともに、石巻港区が石巻地域、更には宮城県の経済発展の一翼を担えるよう整備してまいりますので、今後とも皆様方の御支援・御協力の程よろしくお願いします。



石巻港湾事務所長 熊谷 滋雄

客船「ダイヤモンド・プリンセス」が寄港



株式会社カーニバル・ジャパンが運航する客船「ダイヤモンド・プリンセス」（総トン数115,875 t，全長290.0m）が4月12日（金）に仙台塩釜港石巻港区（雲雀野中央ふ頭）に寄港し，約2,700人の乗船客の皆様をお迎えしました。

当日は，入港時の歓迎イベントとして地元のゆるキャラなどが描かれた大漁旗によるお出迎えが行われました。会場では，地元の物産販売コーナーや地酒のお振る舞いコーナーが設けられ，乗船客の皆様に宮城の味覚を堪能していただきました。また，イベント中には，伊達武将隊や地元の人気ゆるキャラ達も登場し，大いに会場を盛り上げてくれました。

そして，出港イベントでは伊達武将隊による演舞と女川潮騒太鼓轟会による演奏の中，たくさんの人々にペンライトで盛大に見送られ，函館港へ向け出航しました。今後，7月28日（日），9月10日（火）にも入港を予定しています。



地元の人気ゆるキャラ登場



女川潮騒太鼓轟会による生演奏



物産販売コーナー



出航直後の「ダイヤモンド・プリンセス」

＜今後の石巻港へのクルーズ船入港予定＞

令和元(2019)年の7月以降の入港予定は以下のとおりです。

なお、天候・運航スケジュールなどの事情により変更となることがありますので御了承ください。

＜問い合わせ先＞

石巻港大型客船誘致協議会（石巻市役所内）

TEL：0225-95-1111（内線5607）

月 日	入港時間	出港時間	船 名	場 所
7月28日(日)	10時00分	18時00分	ダイヤモンド・プリンセス	雲雀野中央ふ頭
8月21日(水)	6時00分	21時00分	オーシャンドリーム	雲雀野中央ふ頭
9月10日(火)	10時00分	18時00分	ダイヤモンド・プリンセス	雲雀野中央ふ頭
9月21日(土)	12時30分	21時00分	ぱしふいつくびいなす	大手ふ頭

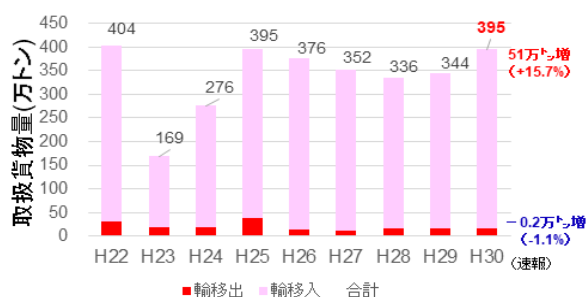
港湾取扱貨物量の推移（平成30(2018)年分）

平成30年における石巻港区の取扱貨物量は、雲雀野地区のバイオマス混焼発電所が平成30年に本格稼働したことにより、「木材チップ」や「石炭」の取扱量が平成29年比で、51万トン増加し、取扱貨物量は全体で約395万トンとなっております。

輸移入の割合では、輸入が68%、移入が27%、輸移入の合計が全体の95%となっており、従来どおり、石巻港区が原材料の輸入基地であるという特徴が読み取れます。

主な取扱の多い上位5品目は、木材チップ、石炭、とうもろこし、動植物性製造飼肥料、原木の順となっております。また、取扱量1位の木材チップの年次推移は、前述のとおり雲雀野地区のバイオマス混焼火力発電の本格稼働により、前年対比で約1.4倍の増加となりました。

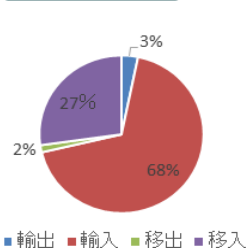
取扱貨物量の推移



上位5品目

品 種 名	【フレート・トン】		
	H30	H29比	H22比
全 体	3,949,035	114.9%	97.6%
木材チップ	1,186,784	143.4%	105.9%
石炭	643,404	128.3%	159.8%
とうもろこし	450,657	109.8%	79.7%
動植物性製造飼肥料	360,538	103.6%	100.7%
原木	210,613	98.1%	79.9%

輸移入割合



【主な取扱品目】

(輸出)

金属くず、鉄鋼 等

(輸入)

木材チップ、石炭

とうもろこし 等

(移出)

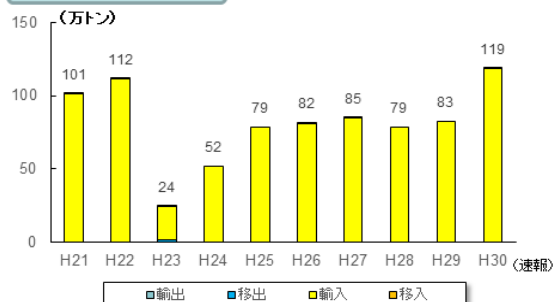
動植物性製造飼肥料、麦 等

(移入)

動植物性製造飼肥料

砂利・砂 等

木材チップ(取扱量1位)



「みやぎ県民防災の日」総合防災訓練を実施

6月12日（水）、「みやぎ県民防災の日」に合わせて当事務所においても総合防災訓練を実施しました。大規模地震が発生した場合の初動対応を確認し、現状の課題を抽出して、今後の危機管理体制のあり方を検証することを目的としたものです。今年は「三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の地震が発生し、栗原で震度7、県内全域で震度6強から5強を観測し、その直後に大津波警報が発表された。」という想定の下、シナリオブラインド型ロールプレイング方式（シナリオを事前にプレーヤーに知らせない訓練方式）による災害対応訓練を行いました。

今後とも定期的に訓練を実施し、地震や津波などの発生に対して、迅速かつ適切な対応が図られるよう努めてまいります。



パトロール指示



被害状況取りまとめ



被害状況報告

保安総合訓練を実施

5月23日（木）に雲雀野北ふ頭において保安総合訓練を実施しました。

この訓練は、SOLAS条約（「海上における人命の安全のための国際条約」）に基づく港湾における保安対策強化の一環として、テロ行為など緊急危機事案の発生対処のため行われているもので、仙台塩釜港（石巻港区）での発生に備え、関係機関相互の連携を図り、迅速かつ的確に対応できるよう、平成16年から実施しております。

今回の訓練では、船に乗船したテロリストが仙台塩釜港（石巻港区）に現れたという想定で、港湾関係者へ情報周知を行う情報伝達訓練と、埠頭ではテロリストを追跡、拘束し、負傷した海上保安官を救急搬送するまでの訓練を行いました。



不審船を追跡する巡視船



海上保安官が船上にてテロリストを拘束



負傷した海上保安官を搬送

復興・復興事業の状況【石巻港区】（平成31年3月末現在）

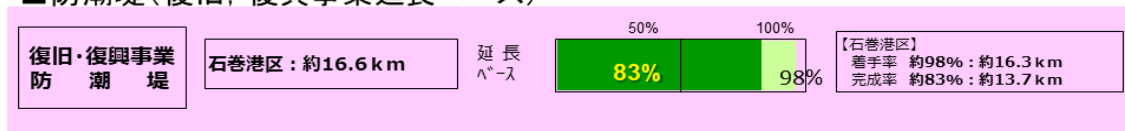
石巻港区の復旧・復興事業については、岸壁、荷捌地等の港湾施設の復旧が平成25年度までに概ね完了しております。また、平成31年3月末には2バースの企業岸壁の公共化も完了しております。防潮堤等の整備は、復興期間である令和2年度末までの完了を目指し邁進しております。



災害復旧事業は47箇所、事業費約226億円に対して、箇所ベースで着手率98%、完成率60%。金額ベースで着手率94%、完成率94%になっております。また、防潮堤整備の延長が約16.6キロメートルに対し、延長ベースで着手率は98%、完成率は83%（13.7キロメートル）になっております。

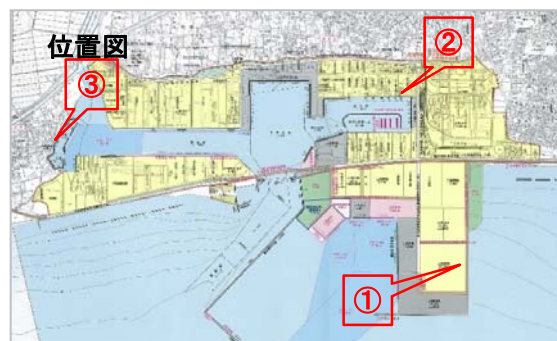
工 種	概 要	進捗率(H31年3月末)	凡例
港湾施設	箇所数：41箇所 復旧費：約87億円	箇所 へー 56% 98% 金額 へー 93% 94%	箇所へー 着手率 約98% 完成率 約56% 金額へー 着手率 約94% 完成率 約93%
海岸保全施設	箇所数： 6 箇所 復旧費：約138億円	箇所 へー 83% 100% 金額 へー 95% 95%	箇所へー 着手率 約100% 完成率 約 83% 金額へー 着手率 約 95% 完成率 約 95%
合 計	箇所数：47箇所 復旧費：約226億円	箇所 へー 60% 98% 金額 へー 94% 94%	箇所へー 着手率 約98% 完成率 約60% 金額へー 着手率 約94% 完成率 約94%

■防潮堤(復旧、復興事業延長ベース)



石巻港 復旧・復興工事(防潮堤等)の状況（その1）

■ 平成30(2018)年度に完成した箇所（復興事業）

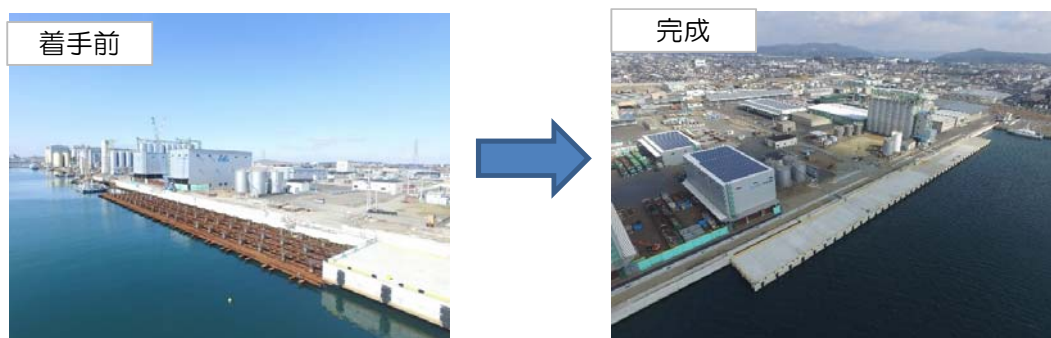


① 雲雀野防潮堤(その2)工事 【仙台塩釜港（石巻港区）】



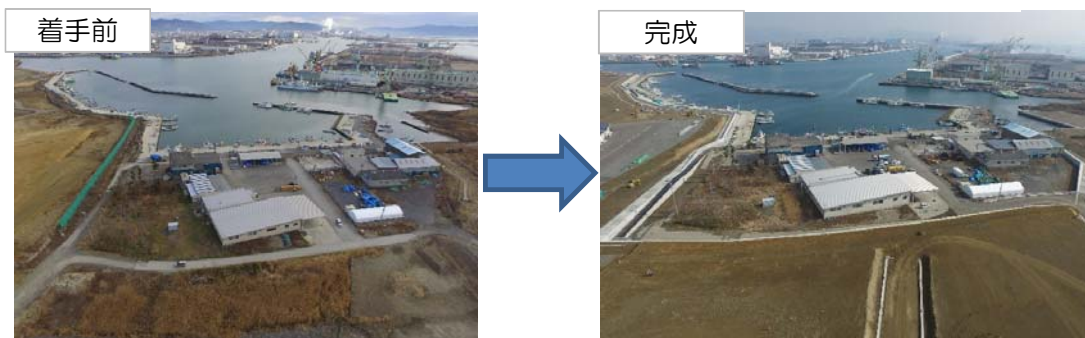
雲雀野地区に整備された防潮堤

② 日和岸壁(-4.5m)(その4)外工事 【仙台塩釜港（石巻港区）】



日和地区に整備された岸壁

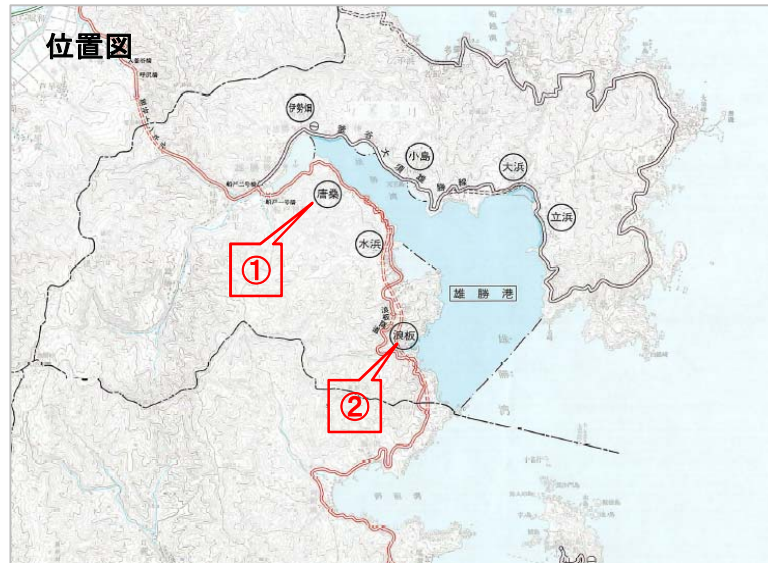
③ 大曲防潮堤(その3)工事 【仙台塩釜港（石巻港区）】



宮城県漁協組合矢本支所付近に整備された防潮堤

石巻港 復旧・復興工事(防潮堤等)の状況（その2）

■ 平成30(2018)年度に完成した箇所（災害復旧事業）



- ① 唐桑防潮堤陸閘・水門外災害復旧工事【雄勝港】
唐桑陸閘 3基 H31年2月完成



雄勝港唐桑地区に整備された陸閘

- ② 唐桑防潮堤陸閘・水門外災害復旧工事【雄勝港】
浪板水門 2基 H31年2月完成



雄勝浪板地区に整備された防潮堤

新たにスマイルサポーターを認定

当事務所では、港湾等における清掃や除草など美化活動に積極的に取り組むボランティア団体等を「スマイルサポーター」として認定しています。このたび新たに「あおみ建設株式会社東北支店」をスマイルサポーターとして認定し、2月26日（火）に認定証交付式を行いました。

これで石巻港湾事務所管内のスマイルサポーターは18団体となりました。



富山県の派遣職員が交代

富山県から応援をいただいていた自治法派遣職員（2人）の方々が平成30（2018）年3月31日離任されました。皆さんには、地方港を中心に防潮堤の復旧・復興のために貢献していただきました。また、新年度からは引き続き富山県から正保さん、浦山さんが着任されました。

新たなメンバーを迎え、職員一丸となって復旧・復興事業の令和2年の完了に向け、邁進してまいります。



左から離任された
久保さん、久木さん



左から着任された
浦山さん、正保さん

編集後記

令和元年の新しい時代を迎え、新たな決意で復旧・復興事業の総仕上げに取り組んでまいります。今後とも進捗状況や旬な話題をお知らせしてまいります。



編集事務局

宮城県石巻港湾事務所

住所：〒987-0845 石巻市中島町17-2

電話：0225-95-6271

FAX：0225-95-6273

E-MAIL: iskown@pref.miyagi.lg.jp

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/is-kouwan/>